

### 第 3 回 寄居町地域公共交通活性化協議会議事録

日 時	平成 28 年 10 月 27 日 (木) 午後 14 時 00 分
開 催 場 所	寄居町役場 3 階 庁議室
委 員 長	井部 徹 会長 寄居町副町長
出 席 委 員 氏 名	1 号委員 本間 政道、野崎 武志、福島 博幸 (代理福島恵美)、松本 久美子 3 号委員 池田 和男、鳥塚 幹夫 4 号委員 古屋 仁 5 号委員 井部 徹 6 号委員 江原 弘満、能勢 一幸 (代理畦地秀樹)、後藤 治彦、柴原 正、 関根 薫、松村 義之
欠 席 委 員 氏 名	1 号委員 家内 知宣 2 号委員 高原 昭 3 号委員 清水 克樹 6 号委員 久保田 尚、南 亨
事務局職員 職 氏 名	都市計画課長 岡田 雅洋 都市計画課主幹 根岸 克夫 都市計画課主査 佐藤 守弘 都市計画課主事 野沢 彩乃
傍聴人の数	0 人
会 議 次 第	1 開 会 2 委員自己紹介 3 議 事 議案第 1 号 「寄居町地域公共交通網形成計画」について 4 そ の 他 5 閉 会
配 布 資 料	資料 1 寄居町地域公共交通活性化協議会委員名簿 資料 2 アンケート調査結果について 資料 3 「寄居町地域公共交通網形成計画」について

発 言 者	発 言 内 容 等
	1. 開 会 2. 会長あいさつ 3. 自己紹介 4. 協議事項  (1) アンケート調査結果について (資料2) (2) 寄居町地域公共交通網形成計画について (資料3) (事務局より資料説明)
会 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以上の資料について、何かご意見やご質問はありますか。</li> </ul>
池 田 委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛のりタクシー登録者の半数は登録のみし、自分の車を使用して移動をしている人たちである。高齢化が進むにつれ、そのような登録者は増加することが予想されるため解決策を考える必要がある。</li> </ul>
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その点に十分配慮しながら、検討を進めていく。</li> </ul>
畦 地 委 員 (能勢代理)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の中の東秩父村路線バスという表記は事業主体がイーグルバスに移ったことで、変更する必要があるのではないか。</li> </ul>
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東秩父村が使用している表記を参考にし、それに合わせた形にしている。</li> </ul>
会 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線バスの再編を行ったばかりですが、東秩父村の方々から何かご意見はありませんか。</li> </ul>
柴 原 委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状として、高齢化は進んでいる中で自力で運転をしているという住民が多い。その中で東秩父村は10月に路線の再編を行い、再編の目的としては路線バスを維持することであった。東秩父村と寄居町の抱える課題には違いがあるが、よく情報の整理をして再編計画を作成してほしい。</li> </ul>
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の協議会でみなさんのご意見をもらい、現状の課題に整理した上で対策を検討していきたい。</li> </ul>
本 間 委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通の整備することはとても重要だが、人口の減少を抑え、企業を誘致</li> </ul>

江原委員	<p>し税金を増やすことも重要である。寄居町のアピールポイントを生かした取り組みを進めてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資料にある、人口動向のページでは将来的に8000人増を見込んでいる。その内訳としては、高齢者が多くいると考えられる。70歳を超える方が免許の更新を希望する際、自動車教習所にて高齢者講習又はシニア運転者講習などを受けることが義務付けられている。しかし、県下の教習所の場合は3か月前の講習の予約が必要になり、首都圏の教習所の場合は5か月前くらいでないと予約ができない状態である。その点、武蔵野自動車教習所では今のところ予約は不要となっている。</li> </ul> <p>また、高齢者の事故を起こす割合が高くなっており、一定の違反を犯した場合、臨時の免許を所持できるかの適性検査を行うようにする法改正が来年の3月12日から始まる。このことから、高齢化社会が進むにつれ危険な運転手を排除する動きが顕著になるだろう。その一環として、免許の返納を促すために、返納者に対して公共交通の割引を適用させるような動きが多く見られている。こういった、免許制度の観点から警察と自治体とが協力して取り組む施策も考えられる。</p>
古屋委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢化が進む中で、移動の安全性を重視した検討をお願いしたい。</li> </ul>
畦地委員 (能勢代理)	<ul style="list-style-type: none"> <li>寄居町を通るバス路線は、国と県から路線維持のための赤字補てんの補助金が充てられている。現状のまま利用者が少ない状態では、国が調整率という形で補助額が下がってしまうことになる。国と県で連動して赤字の1/2ずつを出し合っているものが、国の補助率が下がることで県の補助率も同様に下がり赤字の余りが生じてしまう。この、あまりの赤字は事業者の負担となってしまうため、路線の存続のためにも、利用が増えるような工夫を検討してほしい。</li> <li>会議等で外出する際は、公共交通を使うようになっている。本日路線バスを利用して思ったことは、駅を降りた際のバス停の位置がわかり辛いということである。そのため、初めての利用者にとってわかりやすい工夫が必要である。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>路線バスの利用者が少ないという現状は、課題として重きを置いていて検討を重ねたいと思う。また、バス停が見つげづらいという点においては、寄居駅を降りると、寄居町が管理する自由通路に繋がっているため、利用しやすくなるように検討をしていきたい。</li> </ul>
鳥塚委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>デマンド交通に関して、車いすの方々の利用状況は把握しているのか。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月5名ほどの固定の方々に利用していただいている。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回はたいへん貴重なご意見をいただきありがとうございます。何かありましたら、事務局の方にご連絡ください。以上をもちまして、協議事項を終了いたします。ご協力ありがとうございました。</li> </ul>
	<p>5. その他 (特になし)</p>
	<p>6. 閉 会</p>

以上